

石積埋立処分場浸出水処理施設
建設工事(第2期整備第1区画)
総合評価説明書

平成27年4月28日
仙台市

1 本書の位置づけ

石積埋立処分場浸出水処理施設建設工事(第2期整備第1区画)総合評価説明書(以下「総合評価説明書」という。)は、仙台市(以下「本市」という。)が石積埋立処分場浸出水処理施設建設工事(第2期整備第1区画)(以下「本工事」という。)の実施にあたって、本工事を実施する事業者(以下「事業者」という。)の募集を行うに際して、使用するものである。

総合評価説明書は、落札者を決定するにあたっての方法及び評価基準等を示し、技術提案資料等を作成するための様式と記載要領をとりまとめたものである。

2 事業者選定方式

事業者の選定に当たっては、事業者の幅広い能力・ノウハウを総合的に評価することが必要であることから、入札価格、技術提案等を総合的に評価し落札者を決定する総合評価一般競争入札方式をもって行う。

3 落札者決定基準

落札者は、入札価格が予定価格の制限の範囲内にある入札者のうち、次式に定める評価方法により得られた評価値が最も高い者とする。

$$\text{評価値} = \frac{\text{技術評価点}}{\text{入札価格}} = \frac{\text{標準点(100点)} + \text{加算点(75点)}}{\text{入札価格(消費税抜き)}}$$

※評価値は、入札金額を1億で除したもので計算し、少数点以下第6位を切り捨てとする。

(1) 標準点審査

入札公告に記載された要件をすべて満たす場合に、標準点100点を付与する。

(2) 加算点審査

4(2)「評価項目における評価基準と得点の配点」に示す評価項目ごとに審査し、4(1)「評価項目及び加算点の配点」に従い加算点を付与する。

4 評価に関する事項

(1) 評価項目及び加算点の配点

評価の視点	評価項目	得点	加重度	加算点
企業の技術力	ア 企業の同種工事の実績	2	2.5	5
I S Oの認証取得状況	イ 企業の品質マネジメントシステム、及び環境マネジメントシステムの認証取得の状況	2		5
配置予定技術者の評価	ウ 配置予定技術者の同種工事の実績	2		5
技術提案	エ 施工計画に関する技術的所見	4	1.5	6
	オ 環境配慮に関する技術的所見	4		6
	カ 安定稼働に関する技術的所見①	4		6
	キ 安定稼働に関する技術的所見②	4		6

技術提案	ク 安定稼働に関する技術的所見③	4	1.5	6
	ケ 安定稼働に関する技術的所見④	4		6
	コ 運営・維持管理に関する技術的所見①	4		6
	サ 運営・維持管理に関する技術的所見②	4		6
	シ 運営・維持管理に関する技術的所見③	4		6
	ス 災害対応に関する技術的所見	4		6
計				7.5

(2) 評価項目における評価基準と得点の配点

①企業の評価

評価視点	評価項目	評価基準		得点	記載様式
企業の技術力	ア 企業の同種工事の実績 平成12年4月1日以降に完成し、元請で施工した廃棄物の処理及び清掃に関する法律に定める一般廃棄物最終処分場、または産業廃棄物管理型最終処分場の浸出水処理施設で、生物処理設備を有し、かつ処理水量が100 m ³ /日以上工事実績数	A	実績2件以上	2	様式1
		B	実績1件	1	
		C	実績0件	0	
ISOの認証取得状況	イ 企業の品質マネジメントシステム、及び環境マネジメントシステムの認証取得の状況 開札日時点における品質マネジメントシステム (ISO9001)、及び環境マネジメントシステム (ISO14001) の認証取得の有無	A	2つとも有	2	様式2
		B	1つのみ有	1	
		C	無	0	

配置 予定 技術 者の 評価	ウ 配置予定技術者の同種工事の実績				
	平成12年4月1日以降に完成し、元請で施工した廃棄物の処理及び清掃に関する法律に定める一般廃棄物最終処分場、または産業廃棄物管理型最終処分場の浸出水処理施設で、生物処理設備を有し、かつ処理水量が100 m ³ /日以上以上の工事の施工管理経験実績数	A	実績2件以上	2	様 式 3
	注) 施工管理経験とは、以下のいずれかをいう。 ・ 監理技術者または主任技術者としての施工経験 ・ 監理技術者または主任技術者としての資格を有し、現場代理人としての施工経験	B	実績1件	1	
		C	実績0件	0	

②技術提案

評価 視点	評価項目	評価基準		得点	記載 様式
技 術 提 案	エ 施工計画に関する技術的所見 工事による、既存の浸出水処理施設、管理棟の運営及び埋立物搬入車両の運行への影響を抑える施工計画に関する技術提案	A	具体的で実現性があり、十分な効果が期待できる提案	4	様 式 4
		B	提案内容がAとCの中間程度	3	
		C	具体的で実現性があり、効果が期待できる提案	2	
		D	提案内容がCとEの中間程度	1	
		E	具体性、実現性に欠け、効果が期待できない提案	0	
	オ 環境配慮に関する技術的所見 工事期間中、及び供用開始後の、騒音、振動、CO ₂ 発生量を抑制し、周辺環境へ与える影響を低減する技術提案	A	具体的で実現性があり、十分な効果が期待できる提案	4	様 式 4
		B	提案内容がAとCの中間程度	3	
		C	具体的で実現性があり、効果が期待できる提案	2	
		D	提案内容がCとEの中間程度	1	
		E	具体性、実現性に欠け、効果が期待できない提案	0	

技 術 提 案	カ 安定稼働に関する技術的所見① 高塩濃度の浸出水を考慮した、機器の腐食対策に関する技術提案	A	具体的で実現性があり、十分な効果が期待できる提案	4	様式4
		B	提案内容がAとCの中間程度	3	
		C	具体的で実現性があり、効果が期待できる提案	2	
		D	提案内容がCとEの中間程度	1	
		E	具体性、実現性に欠け、効果が期待できない提案	0	
	キ 安定稼働に関する技術的所見② 機器等に付着したカルシウムスケールを容易に除去することができる構造等に関する技術提案	A	具体的で実現性があり、十分な効果が期待できる提案	4	様式4
		B	提案内容がAとCの中間程度	3	
		C	具体的で実現性があり、効果が期待できる提案	2	
		D	提案内容がCとEの中間程度	1	
		E	具体性、実現性に欠け、効果が期待できない提案	0	
	ク 安定稼働に関する技術的所見③ 浸出水中のカルシウムイオン濃度が変動した場合の追従性に関する技術提案	A	具体的で実現性があり、十分な効果が期待できる提案	4	様式4
		B	提案内容がAとCの中間程度	3	
		C	具体的で実現性があり、効果が期待できる提案	2	
		D	提案内容がCとEの中間程度	1	
		E	具体性、実現性に欠け、効果が期待できない提案	0	
	ケ 安定稼働に関する技術的所見④ 浸出水量が、生物処理設備の稼働に必要となる最低水量に満たない場合における対策に関する技術提案	A	具体的で実現性があり、十分な効果が期待できる提案	4	様式4
		B	提案内容がAとCの中間程度	3	
		C	具体的で実現性があり、効果が期待できる提案	2	
		D	提案内容がCとEの中間程度	1	
		E	具体性、実現性に欠け、効果が期待できない提案	0	
	コ 運営・維持管理に関する技術的所見① 施設の稼働に要する薬品・電気などの用役費の低減に関する技術提案	A	具体的で実現性があり、十分な効果が期待できる提案	4	様式4
		B	提案内容がAとCの中間程度	3	
		C	具体的で実現性があり、効果が期待できる提案	2	
		D	提案内容がCとEの中間程度	1	
		E	具体性、実現性に欠け、効果が期待できない提案	0	

技 術 提 案	サ 運営・維持管理に関する技術的所見② 設備の維持修繕等メンテナンスに要する経費の抑制に関する技術提案	A	具体的で実現性があり，十分な効果が期待できる提案	4	様 式 4
		B	提案内容がAとCの中間程度	3	
		C	具体的で実現性があり，効果が期待できる提案	2	
		D	提案内容がCとEの中間程度	1	
		E	具体性，実現性に欠け，効果が期待できない提案	0	
	シ 運営・維持管理に関する技術的所見③ 安全かつ容易に維持管理ができ，作業性・メンテナンス性に配慮した構造・配置に関する技術提案	A	具体的で実現性があり，十分な効果が期待できる提案	4	様 式 4
		B	提案内容がAとCの中間程度	3	
		C	具体的で実現性があり，効果が期待できる提案	2	
		D	提案内容がCとEの中間程度	1	
		E	具体性，実現性に欠け，効果が期待できない提案	0	
	ス 災害対応に関する技術的所見 大規模な地震により，機器・配管等が損傷した場合における，汚水・薬品等の施設外への流出を防止する構造等に関する技術提案	A	具体的で実現性があり，十分な効果が期待できる提案	4	様 式 4
		B	提案内容がAとCの中間程度	3	
		C	具体的で実現性があり，効果が期待できる提案	2	
		D	提案内容がCとEの中間程度	1	
		E	具体性，実現性に欠け，効果が期待できない提案	0	

5 技術提案等の作成に関する事項

(1) 記載内容全般

- ・ 明確かつ具体的に記述すること
- ・ 造語，略語は，専門用語，一般用語を用いて初出の個所に定義を記述すること
- ・ 他の様式や補足資料に関連する事項が記載されているなど，参照が必要な場合には，該当するページを記入すること
- ・ 指定様式に従い作成すること

(2) 書式等

- ・ 使用する用紙は，各規定様式を使用し，A4版縦長横書き片面とすること
- ・ 各提出書類等で使用する文字の大きさは，明朝体10.5ポイント以上とすること（図表を除く）
- ・ 各提出書類等に用いる言語は日本語，通貨は円，単位は1円単位とすること

(3) 編集方法

- ・ 提出書類等の1項目が複数ページにわたるときは，右肩に番号を振ること
例) 1/2, 2/2 等

(4) 技術提案等に関する書類

- ・ 技術提案等に関する書類は1部とし，封筒に封入すること。封筒の表書には，入札件名，入札者名，総合評価に関する書類等到達期限及び「総合評価に関する書類在中」と記載すること
- ・ 各書類の右上所定の整理番号欄には，何も記載しないこと
- ・ 入札時に提出する書類(①～④)
 - ① 技術提案等ア（様式1，根拠資料も提出）
 - ② 技術提案等イ（様式2，根拠資料も提出）
 - ③ 技術提案等ウ（様式3，根拠資料も提出）
 - ④ 技術提案等エ～ス（様式4）

(5) 技術提案等に関する書類のうち，様式の1から3については，以下の要領に従い記載すること。

記載要領[様式1から3]

○様式1【企業の技術力】

ア 企業の同種工事の実績

- ・ 同種工事とは、4(2)①評価項目「ア 企業の同種工事の実績」欄に記載の通りとする
- ・ 実績は最大2件までとすること
- ・ 実績の有無のいずれかを丸で囲むこと
- ・ 契約金額は消費税込みの金額を記入すること
- ・ 発注機関を具体的に記入すること
- ・ 工事名称は、工事名を記入すること
- ・ 施工場所を具体的に記入すること
- ・ 工事の概要は、日当たり処理能力等、主要緒元を記入すること
- ・ 工期は、着手日と完了日を記入すること
- ・ 受注形態は、単独、共同企業体どちらかを選択すること
- ・ 一般財団法人日本建設総合センターが運営している「工事实績情報サービス(CORINS)」への竣工時登録の有無についていずれかを丸で囲むこと
- ・ CORINSへの竣工時登録している場合、建設業登録番号とCORINS竣工時登録番号を記入し、CORINSの竣工時工事カルテの写しを添付すること
- ・ CORINSへの竣工時登録していない場合、実績が確認できる契約書表紙等の写しを添付すること

○様式2【ISOの認証取得状況】

- #### イ 品質マネジメントシステム、環境マネジメントシステムの認証取得の状況（開札日時点において有効な登録、又は公表をしていること）
- ・ 次に該当する認証取得等の有無を記入すること
 - ISO9001の認証を取得している
 - ISO14001の認証を取得している
 - ・ 登録証の有効期限を記入すること
 - ・ 該当があるものについては、登録証及び付属書等の写しを添付すること

○様式3【配置予定技術者の評価】

ウ 配置予定技術者の同種工事の実績

- ・ 配置予定技術者の氏名を記入し、従事する役割を丸で囲むこと
- ・ 監理技術者となる場合、資格の取得年月日及び資格者証交付番号を記入すること。また、開札日直近の監理技術者講習にかかる講習終了年月日及び終了証番号を記入すること
- ・ 監理技術者証の写しを添付すること
- ・ 建設業法第26条第1項に規定する「主任技術者」と同等以上の資格要件を有することが確認できる、資格登録証等の写しを添付すること
- ・ 配置予定技術者は、公告日の前日から起算して3ヶ月以上の直接的雇用関係にあること
- ・ 雇用保険の写し等、直接的雇用関係にあることがわかる資料を添付すること
- ・ 配置予定技術者の実績は最大2件まで記載すること
- ・ 同種工事とは、4(2)①評価項目「ウ 配置予定技術者の同種工事の実績」欄に記載の通りとする
- ・ 実績の有無についていずれかを丸で囲み、契約金額（消費税込）を記入すること
- ・ 発注機関を具体的に記入すること
- ・ 工事名称を具体的に記入すること
- ・ 施工場所を具体的に記入すること
- ・ 工事の概要は、日当たり処理能力等、主要諸元を記入すること

- 工期は着手日と完了日を記入すること
- 従事した期間を記入すること
- 従事した役職を丸で囲むこと
- 一般財団法人日本建設総合センターが運営している「工事实績情報サービス(CORINS)」への竣工時登録の有無についていずれかを丸で囲むこと
- CORINSへの竣工時登録している場合、建設業登録番号とCORINS竣工時登録番号を記入し、CORINSの竣工時工事カルテの写しを添付すること
- CORINSへの竣工時登録していない場合、実績が確認できる契約書表紙等の写しを添付すること